

令和2年度臨床研修プログラム（概要版）

1. プログラム名 『新潟県魚沼地域病院群臨床研修プログラム（基幹型研修）』

2. プログラムの目標と特徴

（1）プログラムの基本目標：

県立十日町病院を基幹型として、新潟県魚沼地域の県立病院群（県立十日町病院、県立松代病院）を中心に、新潟大学医歯学総合病院、新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院、新潟県立精神医療センターを協力病院として、プライマリ・ケアの基本的技術習得と地域医療を研修する。

研修にあたっては、EBMに根ざした安全な医療を、患者さんの視点に立ち、さらに地域特性を考慮して遂行できる医師となることを目標とする。言い換えると、大都市にはない地域特性による社会的ニーズを把握し、医師としての人格を涵養し、将来望まれる医師の態度を身につけるよう努力する。

研修目標：

- ① 基本的疾患のプライマリ・ケアを習得する。特に救急・災害医療の初期診療を学んで、安全な医療を遂行するとともに、適切な時期に専門医に紹介できる医師になる。
- ② 患者・家族や地域特性による要請を把握し、チーム医療の構成員として医療を実践し、疾病の予防や生活管理に至るまで、人と地域に深く交わり、心身両面から指導できる医師になる。
- ③ 医療情報や診療記録を正しく記載・管理でき、正確に伝達できる医師になる。医学研究や人格形成のため、生涯にわたる自己学習態度を身につけ、社会貢献に努力する医師になる。

（2）プログラムの特徴

新潟県立十日町病院は病床数 275 床、十日町圏域の地域中核病院として、財団法人日本医療機能評価機構による一般病院 2 3rdG:Ver.1.1（平成 28 年 5 月 6 日交付）の認定基準を達成し、平成 4 年から僻地医療支援病院の指定を受け無医地区の巡回診療を行っている。十日町圏域（対象人口約 6 万人）の救急診療（時間外受診患者数約 9,000 人/年、救急車搬入数約 2,000 件/年）を積極的に受入れ、平成 21 年 1 月よりスポット型ドクターカー運用を開始した。AHA の BLS 講習や ICLS 講習を開催し、JPTEC 受講も勧めており、中山間地の救急医療実践には積極的であり、平成 21 年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰を受章した。新潟県災害医療拠点病院に加えて、平成 20 年 2 月から DMAT 病院の指定を受けている。平成 26 年 4 月からは日本プライマリ・ケア連合学会認定の「後期研修プログラム（Ver.2.0）」、平成 30 年 4 月からは日本専門医機構認定「総合診療専門研修プログラム」を運用している。

協力病院等は以下のとおりであり、プライマリ・ケアはもちろん、中山間豪雪、高齢化・過疎・僻地、中越・中越沖地震・長野北部地震被災などの地域特性を備えた医療研修環境が整っている。

協力病院・協力施設名	研修期間	研修責任者	研修内容	指導者
・新潟大学医歯学総合病院	0～12 週	鈴木榮一	選択科目	鈴木榮一
・新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院	0～16 週	高田俊範	救急部門 産婦人科 選択科目	山口征吾 加嶋克則 高田俊範
・新潟県立精神医療センター	4 週	小野 信	精神科	小野 信
・新潟県立松代病院	0～8 週	鈴木和夫	地域医療	鈴木和夫
・新潟県立新発田病院	0～12 週	川合弘一	選択科目	川合弘一
・新潟県立中央病院	0～12 週	永井孝一	選択科目	永井孝一
・県立がんセンター新潟病院	0～12 週	佐藤信昭	選択科目	佐藤信昭
・弓削メディカルクリニック	0～8 週	雨森正記	地域医療 選択科目	雨森正記 雨森正記

(3) プログラム責任者

内科部長 角道祐一

3. 定員

1 年次生 4 名 2 年次生 3 名

採用については医師臨床研修マッチング協議会のマッチングに参加する。

研修希望者の選考は書類及び面接により、臨床研修管理委員会評価小委員会が行う。

欠員については、研修希望者に随時選考を行い、臨床研修管理委員会評価小委員会が評価決定する。

4. 教育課程

(1) 研修方式

研修は必修科目・分野として内科 24 週、救急部門 12 週、外科 8 週、小児科 8 週、産婦人科 4 週、精神科 4 週、2 年次に地域医療 8 週を研修し、病院で定めた必修科目として整形外科 8 週を研修する。そして選択科目 28 週をローテート方式で研修する。

研修開始は内科において行い、医療制度・保険・安全管理など基本的な知識のオリエンテーションを行う。

選択研修ではより実践的研修や将来の専門研修を想定した研修を行う。

「経験すべき症候」「経験すべき疾患」については内科研修の間により多く経験できるよう、管理委員会が進捗状況を把握し、指導医に助言する。

研修医は研修開始後約 3 ヶ月以内に、プログラム調整小委員会に選択研修希望を提出する。プログラム調整小委員会は、研修希望と研修進捗状況と指導体制を考慮して、指導医と研修医と協議のもと選択研修を決定する。研修期間途中での期間割・研修科目の変更についても、プログラム調整小委員会に申し出て協議できる。

研修プログラムイメージ

1 年目					
	内科 24 週 (一般外来研修)		救急部門 12 週	外科 8 週	小児科 8 週
2 年目					
	精神 科 4 週	産婦 人科 4 週	地域医療 8 週 (一般外来研修)	整形 外科 8 週	選択科目 28 週

(2) 研修医の配置と教育責任者

研修期間は令和 2 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日までとする。

各ローテーションの教育責任者一覧

内科	兼藤 努・堀 好寿
救急部門	齋藤 悠
地域医療	鈴木和夫・吉嶺文俊
外科	福成博幸・林 哲二
小児科	金山哲也
産婦人科	小菅直人・加嶋克則
精神科	小野 信
整形外科	倉石 達也
選択内科 (消化管・肝胆膵)	兼藤 努
選択内科 (内分泌代謝・糖尿病)	齋藤 悠
選択内科 (呼吸器)	堀 好寿・鈴木和夫

(3) 研修目標

医療人として必要な基本姿勢・態度を身につけるとともに、基本的価値観を自らのものとし、基本的診療業務ができるレベルの資質・能力を修得することを目標とする。

下記項目につき到達目標をおき修得に努める。

- A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）
 - A-1. 社会的使命と公衆衛生への寄与
 - A-2. 利他的な態度
 - A-3. 人間性の尊重
 - A-4. 自らを高める姿勢
- B. 資質・能力
 - B-1. 医学・療における倫理性
 - B-2. 医学知識と問題対応能力
 - B-3. 診療技能と患者ケア
 - B-4. コミュニケーション能力
 - B-5. チーム医療の実践
 - B-6. 医療の質と安全管理
 - B-7. 社会における医療の実践
 - B-8. 科学的探究
 - B-9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢
- C. 基本的診療業務
 - C-1. 一般外来診療
 - C-2. 病棟診療
 - C-3. 初期救急対応
 - C-4. 地域医療

(4) 勤務時間と日当直

勤務時間：午前 8：30～午後 5：15

研修時間は原則として 1 週 38 時間 45 分、1 日 7 時間 45 分である。研修中の定期アルバイトは許可しない。

日当直：1 年次は指導医（主当直）とともに、副当直として研修当直する。2 年次は 4 回／月程度。

当直時間 午後 5：15～翌午前 8：30

当直中に経験する症例には経験すべき項目を多く含んでいるので、詳細に実習記録に記載する。

当直翌日が平日勤務に当たる場合は、勤務時間を制限することがある。

(5) 医局会など医局行事

医局会議：毎月第三水曜午後 6：00～ 医局

医局（医師）全体の会合、医局の決定機関、カンファレンス など

カンファレンス：各診療科、公開検討会 隔月、地域検討会 隔月

CPC・病理研修：月 1 回（第 2 金曜日）

5. プログラム修了の認定

(1) 臨床研修修了の認定要件

研修終了時には、以下の要件を満たさなければならない。

- ①「経験すべき 29 症候」、「経験すべき 26 疾病・病態（少なくとも 1 例は手術要約を含める）」に関する病歴要約を臨床研修管理委員会へ提出する（最終提出期限：研修終了 2 か月前）。
- ②一般外来の実施記録表を臨床研修管理委員会へ提出する（最終提出期限：研修終了 2 か月前）。
- ③研修医評価票Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを勘案して作成される「臨床研修の目標の達成度判定票」により、研修目標が達成されている。
- ④各診療科ローテーション中に入院主治医を担当し、かつローテーション中に退院した全患者の入院総括が記載されている。

(2) 研修の終了認定及び証書の交付

臨床研修管理責任者は臨床研修管理委員会評価小委員会の判定に基づき、卒後臨床研修の目標達成者に、この研修プログラムの修了を認定し、初期臨床研修終了証を授与する。

6. 研修修了後の進路

原則自由選択

- ・日本プライマリ・ケア連合学会認定の新潟県立病院群総合内科・家庭医療後期研修プログラム（期間 3 年間：地域医療研修 18 か月、内科・小児科・救急センター研修 12 か月間、選択研修 6 か月間）
- ・出身大学への復帰
- ・新潟大学医学部入局（大学院：勤務をしながら入学できる、社会人入学コースを含む）
- ・専門医制度教育・認定施設取得状況

日本プライマリ・ケア連合学会、日本外科学会、日本脳外科学会、日本眼科学会、日本整形外科学会

7. 研修医の処遇（令和元年度新潟県職員規程実績）

身分	非常勤特別職
給与など	給与 1 年次生 月額 310,000 円 2 年次生 月額 340,000 円 宿日直手当、時間外金手当 支給 旅費 行政職（一）3 級相当
休暇	有給休暇あり（年末年始特別休暇あり）
院内居室	研修医室あり、研修医仮眠室あり
宿泊施設	あり（一般医師用と併用、借り上げ宿舎）
社会保険	あり（公的医療保険、公的年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険など）
健康管理	定期健康診断あり
医師賠償責任保険	団体保険病院加入（個人加入は任意）
	アルバイト診療は禁止する。

8. 研修医の応募手続き及び選考方法

応募先	〒948-5566 新潟県十日町市高田町三丁目南 32-9 新潟県立十日町病院 庶務課 TEL 025-757-5566
必要書類	研修申込書、履歴書（病院ホームページからダウンロード可能）
研修申込書請求先	応募先に同じ
選考方法	書類選考・面接 2019 年 8 月 20 日（火）
応募締め切り（第 1 次締切）	2019 年 8 月 19 日（月）
	<u>※この日程によることができない場合はご相談ください。</u>

病院見学

申込・問合せ先

〒948-5566 新潟県十日町市高田町三丁目南 32-9
新潟県立十日町病院 庶務課 TEL 025-757-5566

病院のホームページ

<http://www.tokamachi-hosp-niigata.jp/>